

赤ちゃんと楽しい時間を

ブックスタートで育児支援

ブックスタートって？

世界各国に広がっているブックスタート運動ですが、日本では「絵本を間に赤ちゃんと一緒に時間を過ごして欲しい」とそんな願いから育児支援の環境としてはじまりました。地域に生まれた赤ちゃんに保護者に、絵本の楽しさを伝えるだけでなく、絵本と地域



ブックスタートの様子

の育児情報などを入れた「ブックスタートパック」を手渡しています。

小郡市でも平成14年4月以降に生まれた子どもたちを対象に始まり、昨年度には、ブックスタート初年度の子どもたちが小学校に入学するまでになりました。

小郡市のブックスタートは、10か月児健康診査時に、保護者に絵本の楽しみ方などを説明しながら、絵本2冊、アドバイス集、おすすめの本リスト、市内の子育て支援センターのチラシをバッグとともに手渡しています。

絵本は、初めて絵本に触れる赤ちゃんでも楽しめるものを中心に音や言葉を楽しむもの、わらべ歌あそび、生活絵本など基本的な絵本6冊の中から2冊選んでもらいます。また、絵本は2年ごとに見直して一部入れ替えを行っています。

実際に、赤ちゃんに読んでやると、覗き込んだり、ニコニコ笑ったり、声を上げたりの反応があります。一緒に



来年度の絵本6冊

いる保護者も思いもかけない赤ちゃんの様子に驚かれる事もしばしばです。

赤ちゃんにとって絵本を読んでもらう事は絵本そのものを理解して楽しむわけではなく、読んでくれる人のぬくもり、声の響きや言葉のリズム、語りかけてもらう心地よさを喜ぶのです。

小郡市ではブックスタートによってどんな効果もたらされるのかを明らかにするために福岡女学院大学の協力のもと

以上のことから、小郡市におけるブックスタートの事業は、子どもの成長に非常に役立っているということがいえます。

まとめに

ブックスタートを受けた子どもたちと接している学校図書館の司書からは、「全体的に本に興味心がある児童が増えている。図書以外の時間にも図書館に本を借りに来たり、短い時間でも

10か月、1歳6か月、3歳1か月、就学前に追跡アンケートを実施しています。アンケートの分析を行っている福岡女学院大学名誉教授篠原先生からは次のような報告をいただきました。

追跡アンケート調査

小郡市で初めて、10か月健康診査の際にブックスタートの説明を受けて、読み聞かせを始めたお子さん方が小学校入学を迎えられた折、保護者の方々に対する4回目の調査を実施し、ブックスタートの説明を受けた方、受けていない方の比較をいたしましたところ次のような結果でした。

「兄弟姉妹と一緒に絵本を見ている」「保護者が絵本をプレゼントする」「保護者が絵本の紹介記事に気をつける」「父親が子どもと絵本を見ている」「保護者が図書館で子どもの本をかりる」「保護者が絵本を見るために本屋へ行く」等が、ブックスタートの説明を受けた方々のほうが、統計的に有意に多くなっていました。

ブックスタートを受けた方々の、ブックスタートの意義については、5段階評価において3つ以上であったものを*表に示しています。「子どもへの愛情が深まった」「子どもが親を好きになった」「絵本と一緒にいることが思

集中して読んだり、落ち着きがみえる。」というお話を伺いました。

学校図書館の司書の言葉は、アンケート結果を裏付けているといえます。小郡市では、このように子どもや保護者を変える力をもっているブックスタート運動を、これからも続けてまいります。

また、家庭、地域、学校と力を合わせて「家読(うちどく)」を進めていきます。

い出になった」「親子の絆が深まった」「親がゆったりとした気分になった」等から、日本におけるブックスタートの大きな目標の一つである『親子の絆を深める』というものが大いに達成されたと言えるでしょう。

また、絵本を読み聞かせることで、「子どもが本好きになった」「子どもの感性が育った」「子どもの知性が育った」「子どもの言葉の発達が早くなった」「人の話を聞ける子になった」「子どもが落ち着いたら」等から、子どもの成長に『絵本の読み聞かせ』が非常に役立っている実感する保護者が多いということがわかります。



学校図書館司書の研修でお話しをされる篠原先生

*表「ブックスタートを受けた保護者の現在の家族の様子に関する回答」(5段階評価)

子どもが本好きになった	3.86	親子の絆が深まった	3.42
子どもの感性が育った	3.60	子どもの言葉の発達が早くなった	3.42
子どもの知性が育った	3.52	人の話を聞ける子になった	3.40
親の子どもへの愛情が深まった	3.49	子どもが落ち着いた	3.15
子どもが親を好きになった	3.48	親がゆったりとした気分になった	3.11
親が絵本を楽しめるようになった	3.48		
絵本と一緒にいることが思い出になった	3.43		

アンケートの5段階評価

- 5.非常にそうである
- 4.そうである
- 3.ややそうである
- 2.あまりそうではない
- 1.全くそうではない

「第2次小郡市子ども読書活動推進計画(案)」についてのパブリックコメントを募集します

小郡市では平成17年3月に策定しました「小郡市子ども読書活動推進計画」の活動内容を検証して新たな計画(案)を作成しました。この第2次計画(案)について、市民の皆さんのご意見を募集します。

計画(案)は、図書館ホームページに掲載するほか、市立図書館などの施設でご覧いただけます。ぜひ、皆さんのご意見をお聞かせください。

▶第2次計画(案)がご覧になれる場所

図書館ホームページ、教育委員会教務課(市役所西別館3階)、市立図書館、生涯学習センター、総合保健福祉センター「あすてらす」、味坂校区公民館、御原校区公民館、小郡交流センター、ひまわり館東野、ふれあい館三国、のぞみがおか生楽館、くろつち会館

▶意見募集期間 12月1日(水)～12月20日(月)

▶意見の提出方法と提出先

計画(案)がご覧になれる施設に備え付けの「ご意見(コメント)用紙」に記入して、備え付けの意見箱に投函していただくか、市立図書館まで郵送かファクスでお送りください。なお、ご意見をいただいた方への個別の回答はいたしませんので、ご了承ください。

▶問い合わせ先

小郡市立図書館 ☎838-0142 小郡市大板井136-1
☎72-4319 ファクス72-3501
ホームページ <http://www.library-ogori.jp>